

奨学金： 太平洋セメント奨学金

大 学： 岩手大学

名 前： 中村 拓真

国 籍： 日本

大学3年次に太平洋セメント奨学金を受給してからの2年間、学業に集中するだけでなく多くの経験を得ることができました。進路は東北大学大学院へ進学することが決まり、学部は学科を首席で卒業することができました。

3年次には、夏休み期間中にバンクーバーで短期留学を行うなど、日本以外の文化を体験できたことは研究室の留学生とコミュニケーションをとる上で活かされていますし、グローバル化が進む今後はより多くの場面でこの経験が役立っていくと思っています。このような結果・経験を得ることができたのも、この奨学金のおかげです。私を奨学生として採用していただき、2年間手厚い支援をしていただきました事に心より深くお礼申し上げます。

奨学金のおかげでアルバイトをする必要がなくなり、学業に集中して取り組むことができました。今年の前期は研究室配属があり、与えられた研究テーマに関する勉強と大学院試験の勉強に主に取り組みました。後期は卒業研究に取り組みました。研究はなかなか上手くいかず、実験では何度も試行錯誤しました。どうにか満足する結果を出して卒業論文を書くことができ、今年の3月にその内容を学会発表いたしました。

また、研究以外の学習として第1級陸上無線技術士という国家資格の勉強にも積極的に取り組みました。この資格を取得するためには4科目の試験科目全てを合格する必要があります。私は今年の試験で2科目合格することができました。今年中に残りの科目を合格し、資格を取得したいと思います。